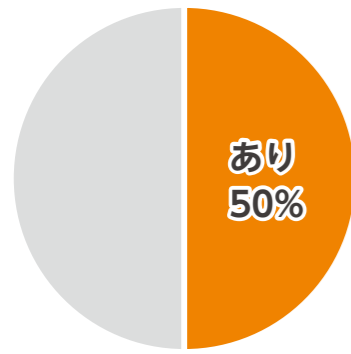


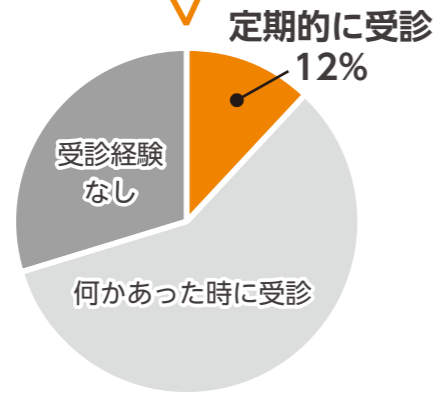
要介護高齢者には 専門的な口腔管理が大切！でも 実際は……

歯科医師、歯科衛生士が定期的に訪問している介護保険施設においても
半数に歯科治療の必要があるものの
定期的な歯科受診は**約1割**

歯科治療の必要性

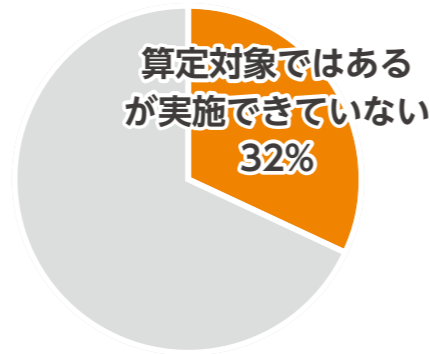


歯科受診の状況



令和元年度老人保健増進等事業報告書より

必要性はあるが
口腔衛生管理を
提供できていない人が
32%



Hama K et al., Gerodontology

介護保険制度での歯科衛生士による口腔衛生管理では…

お口の中の状態や機能を評価し、ひとりひとりの全身状態や生活機能を踏まえた
リスクの評価に基づいてケア計画を立案し、口腔ケアマネジメントを実施します。

口腔衛生状態の改善
のためのケア（月2回以上）

日常の口腔清掃方法・義歯のケア方法
などに関する職員への指導・助言

食べる機能（摂食嚥下機能）
改善のための取り組み

入所者のお口の健康に
関する相談への対応

歯科治療の勧奨



自覚症状がないままお口のトラブルが進行していることがあります。

痛い時、困った時だけでなく、定期的にかかりつけ歯科医
による歯科健診を受けましょう。



介護保険施設での 「食べる」「話す」「笑顔」を 支える健口づくり



施設入所中の要介護高齢者のお口の健康維持のために
歯科が関わると こんな効果が

口腔衛生を保つための
管理を歯科衛生士が
定期的実施すると…

常食を食べている方に、
定期的な歯科受診と
歯科衛生士によるケアや
指導を行うと…

肺炎の発症を防ぐ
食形態が維持される

体重が維持される

令和元年度老人保健増進等事業報告書より

専門的な口腔管理はどんな人にも必要です



一般社団法人
日本老年歯科医学会
Japanese Society of Gerodontology

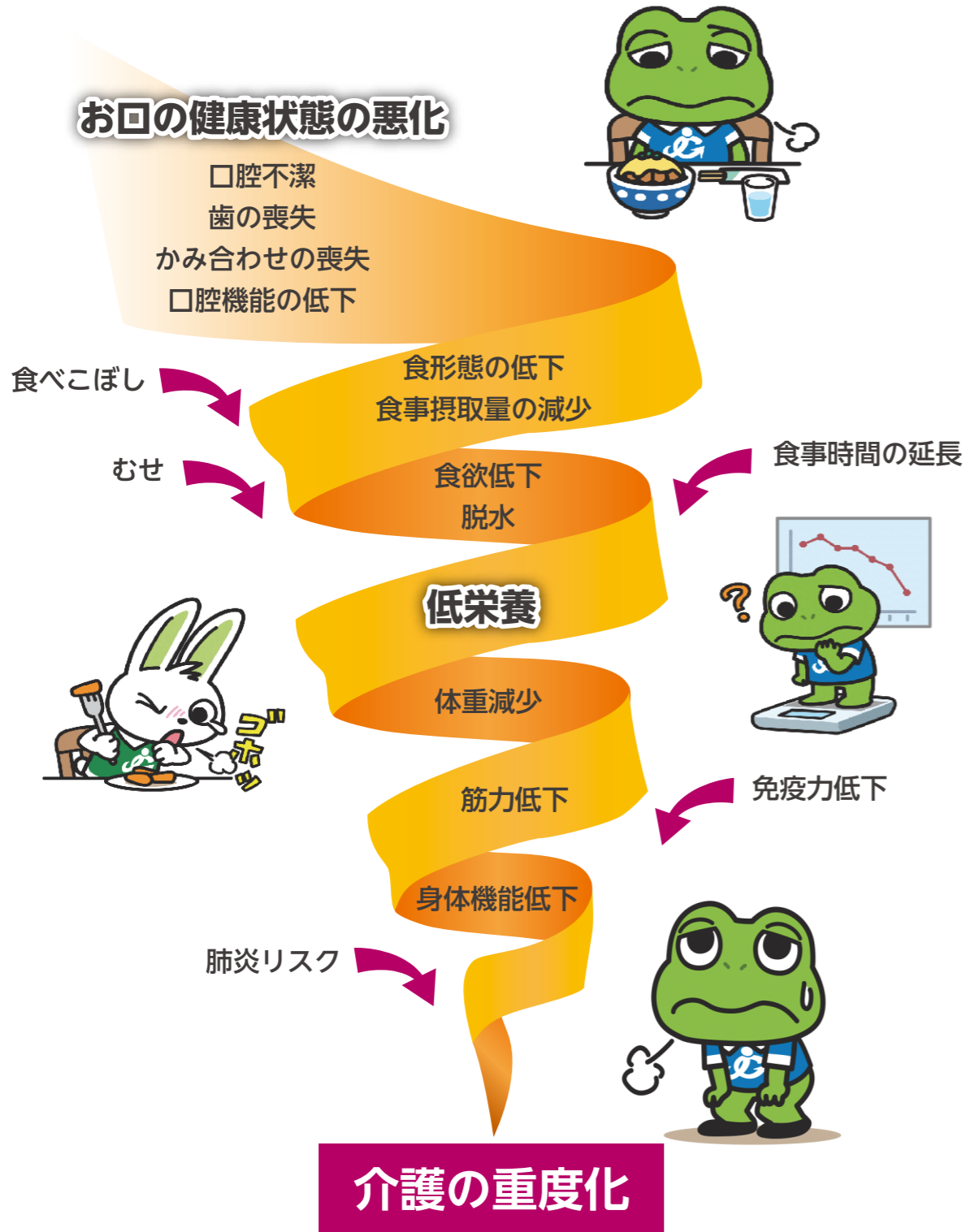


学会ウェブサイトはこちら

お口の健康は、全身の健康や食べる楽しみ・人とのコミュニケーションなど「生きること」に直結しています。
毎日の健やかな暮らしのための「健口づくり」のためのヒントをお伝えします。

お口の健康づくりに関する詳しい情報を動画にまとめています。
ぜひ QR よりアクセスしてみてください

お口の健康状態の悪化がもたらす 負のスパイラルのイメージ図



※あくまでも一例です

お口を清潔に保つことの意義

お口の中を清潔に保つことは、むし歯や歯周病で歯を失うことを防ぐだけでなく、生活の質の向上につながります。

細菌の塊であるプラーク（歯垢）1 mg 中に、細菌が 1000 億個も存在しているといわれています。その細菌は、むし歯や歯周病の原因になるだけでなく、感染性心内膜炎や誤嚥性肺炎などの全身疾患を引き起こします。

全身の健康維持のためにも毎日のケアに加えて、歯科衛生士による定期的な口腔清掃でお口の清潔を保ちましょう。



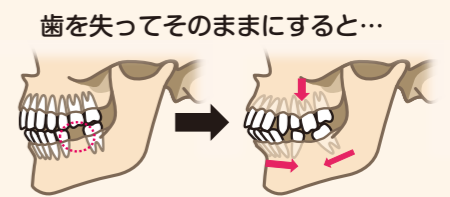
口腔ケア方法についてはこちら▲

かみ合わせを維持することの重要性

むし歯や歯周病で歯を失い、抜けたまま放置すると、図のように歯が動き、歯ならびやかみ合わせなどに影響が生じ、かむ力が衰えていきます。

硬いものが食べにくくなり、軟らかいものを選んで食べるようになります。このような状態が続くと、健康を維持するために必要な栄養が不足し、低栄養につながっていきます。

入れ歯などでかみ合わせを回復して、しっかり栄養がとれる口腔状態を維持しましょう。



入れ歯のケア方法についてはこちら▲

食事と口腔機能の関係性

口腔機能の低下は、食事量の減少にもつながっていきます。ひとりひとりの口腔機能に食形態*や食事内容を合わせることが、低栄養の予防につながります。口腔機能の評価や適切な食形態について、歯科医師・歯科衛生士に相談しましょう。

※常食、刻み食やペースト食など食事の形態のこと



食事と低栄養についてはこちら▲

低栄養がもたらす影響

低栄養になると、体重減少や筋力低下をきたします。さらに、摂食嚥下機能や免疫力の低下を認めるようになり、肺炎リスクが高まります。

また、水分摂取量が減少することも多くなるため、脱水にも注意が必要です。身体機能低下や介護の重症化予防のために、食形態が維持できるような口腔機能や環境を維持することが重要です。